

「動画解像度」<sup>(\*1)</sup> に優れた大画面地上・BS・110度CS  
デジタルハイビジョンプラズマテレビ「<sup>ウー</sup>Wooo」など、2機種を発売



P50-H01



L26-H01

株式会社日立製作所コンシューマ事業グループ（グループ長&CEO：江幡 誠／以下、日立）は、「動画解像度」に優れ、迫力ある大画面で楽しめるデジタルハイビジョンプラズマテレビ P50-H01 と、「<sup>ウー</sup>Wooo」シリーズのスタンダードモデルとして、書斎やベッドルームなどでの2台目のテレビに適したデジタルハイビジョン液晶テレビ L26-H01 の2機種を8月中旬から順次発売します。

プラズマテレビ P50-H01 は、業界最高クラス<sup>(\*2)</sup> 高輝度  $1,300\text{cd}/\text{m}^2$ <sup>(\*3)</sup>、高コントラスト  $10000:1$ <sup>(\*4)</sup> を実現した、水平  $1280 \times$  垂直  $1080$  画素の 50V 型「1080 ALIS パネル」<sup>(\*5)</sup> を搭載し、動画解像度 720 本以上を実現しています。液晶テレビ L26-H01 は、広視野角の「IPS  $\alpha$  パネル」<sup>(\*6)</sup> を採用し、どの角度から見ても色調の変化の少ない自然な映像を映し出します。

さらに、画面上のガイドに従って操作するだけで、簡単にデジタル放送の初期設定が完了する「かんたんセットアップ」機能や、テレビの電源 ON 時の起動時間を大幅に短縮する「クイックオン」機能など、使いやすさを重視した機能を搭載しています。

外観は、先進のデザインコンセプト「Cutting edge Design（カッティング・エッジ・デザイン）」をベースに、モニター、スタンド、スピーカーの薄さを強調するデザインを側面に取り入れています。

■ 型式、価格および発売日

地上・BS・110度CS デジタルハイビジョン プラズマテレビ・液晶テレビ

方式	画面 サイズ	表示画素数 (水平×垂直)	型式	発売日	本体希望 小売価格	当初月産台数
プラズマ	50V 型	1280×1080	P50-H01	9月中旬	オープン価格	5,000台/月
液晶	26V 型	1366×768	L26-H01	8月中旬	オープン価格	8,000台/月

※「Wooo」は3つの「Wo～」を意味しています。(Wonder—驚きがある。World standard—世界の新しい基準である。Worthwhile—高い価値がある。)

(※1) 動画解像度とは、動画像において人の目で識別できる表示の細かさを定量的に本数で表すものです。次世代 PDP 開発センター (APDC) の測定方法です。

(※2) : 2007年7月現在、日立調べ

(※3) : 白ピーク、パネル単体

(※4) : 暗所、パネル単体

(※5) : 富士通日立プラズマディスプレイ株式会社 (代表取締役社長 : 黒田重雄) 製

(※6) : 株式会社 IPS アルファテクノロジー (取締役社長 : 米内史明) 製

■ **製品紹介ホームページ** 「日立 Wooo ワールドホームページ」 URL : <http://av.hitachi.co.jp/>

■ **お客様からのお問い合わせ先およびカタログ請求先**

お客様相談センター

電話 : 0120-3121-11 (フリーコール)

時間 : 9:00~17:30 (月~土)、9:00~17:00 (日・祝日) 【年末年始をのぞく】

## ＜新製品の主な特長＞

### ■ 高画質技術

#### 1. 「1080 ALIS パネル」、「IPS $\alpha$ パネル」など、高画質パネルを採用

##### (1) 業界最高クラスの輝度 1,300cd/m<sup>2</sup>を実現した 50V 型「1080ALIS パネル」(P50-H01)

ALIS 方式の特長である垂直方向無変換の 1080 画素を実現するとともに、水平画素数を 1280 画素へと増やすことにより、高精細化を図った 50V 型「1080 ALIS パネル」を採用しています。50V 型では業界最高クラス(\*1)の高輝度 1,300cd/m<sup>2</sup> (パネル単体、ピーク輝度)と、高コントラスト 10,000:1 (パネル単体・暗室)でメリハリのある鮮明な映像を再現します。

(\*1) : 2007 年 7 月現在、日立調べ

##### (2) 斜めから見ても美しい「IPS $\alpha$ パネル」(L26-H01)

広い視野角 (上下左右 178 度) (\*2)を持ち、見る方向での色調の変化が少なく、どこから見ても自然な映像を表示する「IPS $\alpha$  パネル」を搭載しています。

(\*2) : JEITA 規格準拠

#### 2. 動画解像度に優れたプラズマテレビ (P50-H01)

動画解像度は、動画像において人の目で識別できる表示の細かさを定量的に表すために提唱された測定方法(\*3)です。プラズマテレビは自発光で動画解像度に優れており、720 本以上の高い動画解像度を実現し、動きの速い映像をくっきりと映し出します。

(\*3) : 次世代 PDP 開発センター (APDC) 測定方式

#### 3. フルハイビジョンや 1080p 信号に対応した、画像処理エンジン「Picture Master Full HD」を搭載

日立独自の高画質画像処理エンジンをさらに向上させた「Picture Master Full HD」を搭載し、映像の解析・処理を高速化・高精細化することで、さらなる高画質化を実現します。

- ・コントラスト感のある階調表現を実現する「アドバンスドダイナミックコントラスト」
- ・繊細な質感を美しく表現する「3次元デジタルカラーマネージメント」
- ・奥行き感やキレのある映像を表現する「ツインダイナミックエンハンサ」
- ・映像シーンの輝度情報に応じてバックライトの明るさを制御する「新ダイナミックバックライトコントロール」(L26-H01 のみ)

#### 4. 地上・BS・110 度 CS デジタルチューナー搭載

### ■ 使いやすさの向上

1. 「裏番組チェック」で、チャンネルを変えずに裏番組の電子番組表 (EPG) を確認可能
2. 画面を見ながら簡単に初期設定できる「かんたんセットアップ」機能
3. 1080p に対応した 2 系統の HDMI 端子を装備
4. 起動時間を大幅に短縮し、デジタル放送もすばやく起動する「クイックオン」機能

## ■ 省エネ設計と環境負荷の低減

### 1. 省エネ設計

(1) プラズマパネル、液晶パネルともに約 60,000 時間<sup>(※4)</sup> の長寿命設計です。

(※4) : プラズマはパネル輝度 40%到達までの目安時間、液晶はバックライト輝度半減までの目安時間、残像（焼き付き）・故障はのぞく。

(2) テレビの切り忘れなどに対応し、「無信号電源オフ」「無操作電源オフ」「ビデオパワーセーブ」の省エネ機能を搭載しています。

### 2. JIS 規格「J-Moss<sup>(※5)</sup>」のグリーンマークに対応

日本工業規格（JIS）に制定された「J-Moss」に対応し、「鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB（ポリブロモビフェニル）・PBDE（ポリブロモジフェニルエーテル）」の 6 物質の非含有<sup>(※6)</sup>をあらわす「グリーンマーク」に対応しています。

(※5) : J-Moss : 電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法

(The marking for presence of the specific chemical substances for electrical and electronic equipment)

(※6) : JIS C 0950 に規定する除外項目をのぞく。

### 3. 無鉛化パネルの採用

P50-H01 は環境に配慮した無鉛化パネルを採用しています。

## ■H01 シリーズの主な仕様

		50V 型プラズマテレビ	26V 型液晶テレビ
型式		P50-H01	L26-H01
表示サイズ (幅×高さ、対角)		110.6×62.6cm、127.0cm	57.6×32.4cm、66.1cm
パネル		1080ALIS パネル	IPS α パネル
表示画素数(水平×垂直)		1280×1080	1366×768
動画解像度		720 本以上	-
輝度(白ピーク、パネル単体)		1,300cd/m <sup>2</sup>	500 cd/m <sup>2</sup>
コントラスト(暗所、パネル単体)		10,000 : 1	7000:1 *1
受信チャンネル		地上デジタル 000-999 (CATV パススルー対応) BS デジタル 000-999 110 度CSデジタル 000-999 (右旋円偏波) 地上アナログ VHF:1-12ch UHF:13-62ch CATV:C13-C63	
チューナー		地上・BS・110 度 CS デジタル×1、地上アナログ×1	
実用最大音声出力 (JEITA)		10W+10W	
スピーカー		アンダースピーカー (12×6cm) ×2	
サラウンド	TruSurround 5.1 *2	○	
	WOW *2	SRS-3D *2	○
		TruBass *2	○
		FOCUS *2	○
	BBE *2	○	
入出力端子	HDMI 入力端子(1080p 対応)	2	
	D 4 入力端子	2	
	S2 ビデオ入力端子	2	
	ビデオ入力端子	3	
	モニター出力端子	1	
	サブウーハー出力端子	1	
	光デジタル音声出力端子	1	
	電話回線接続端子	1	
	IR コントローラー端子	1	
	ヘッドホン出力端子	1	
	LAN 端子	1	
アンテナ入力端子		VHF/UHF 入力×1(アナログ・地上デジタル共通入力) BS/CS-IF 入力×1	
消費電力 (待機時)		438W (0.5W)	102W(0.5W)
年間消費電力量(スタンダード時)		349kWh/年	102kWh/年
本体外形寸法 *3 (幅×高さ×奥行)		124.0×83.6×10.5cm (下部最大奥行 12.5cm)	66.8×46.5×11.4cm
本体質量		40.7kg	12.2kg
スタンド		別売	付属

\*1: セット本体で表示できる全白信号と全黒信号の輝度比として。仕様は、予告無く変更することがあります。

\*2: TruSurround 5.1、WOW、SRS-3D、TruBass、FOCUS は SRS Labs, Inc の商標です。BBE は BBE Sound, Inc の商標です。

\*3: 設置に際してはスタンド等が必要です。

## ■P50-H01 専用スタンド

商品名	型式	希望小売価格(税込)	発売時期
固定スタンド	TP-5001FST (別売)	21,000 円	9 月中旬

以上

---

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

---